

県歌「信濃の国」制定50周年

③

県歌に決まってから、今年でちょうど50年！
今回は、三番を紹介します。三番は、長野県の産業です。林業、漁業、農業、養蚕業。えつ、『蚕』って何か分らない？って。ぜひ、調べてみましょう。飼ってみましょう。



蚕を飼う小学生

〈三番〉

木曾の谷には真木茂り
諏訪の湖には魚多し
民のかせぎも豊かにて
五穀の実らぬ里もある
しかのみならず桑とりて
蚕飼の業の打ちひらけ
細きよすがも軽からぬ
国の命を繋ぐなり

〈歌詞の意味〉

木曾谷にはヒノキが生いしげり、
諏訪湖では魚が多くとれます。
県民の産業も豊かに発展し、
県内どこでも穀物など農産物が豊かに収穫
されます。
それはかりでなく、桑の葉をつみ取って育
てる養蚕の技術が広がり、
一軒一軒の養蚕農家は小規模ながらも大事
な仕事をしており、国の命運を支えている
のです。



長野県は豊かな自然をいかした産業が発展しました。
あなたの周りではどんな産業が盛んですか。
今回は、四番の意味を紹介します。

作成：長野県教育委員会 教学指導課・企画振興部 広報県民課

* 学年だより等でこのまま紹介することも可能です。